

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名 <small>みなみおおがやつきのわせん(だい2こうく)</small> 南大萱月輪線（第2工区）	事業区分 街路	事業主体 大津市
起終点 自：大津市月輪二丁目 至：大津市瀬田月輪町	延長 1.9 km	
事業概要 都市計画道路3・4・74号南大萱月輪線は、主要地方道大津草津線から京滋バイパス、国道1号を経て主要地方道大津能登川長浜線に至る全長3.34 kmの街路で、中心市街地と東部地域を結ぶ大変重要な路線である。		
H元年度事業化	S47年度都市計画決定 (H10年度変更)	H元年度用地着手
		H6年度工事着手
全体事業費 : 61億円 事業進捗率 : 88.8% 供用済延長 : 1.15 km		
計画交通量 : 11,700台/日		
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 一部完了後に区間延伸したため、全体事業では資料がないため未評価 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 38 / 億円 (事業費 : 37.4 / 億円) (維持管理費 : 0.1 / 億円)
		総便益 (残事業)/(事業全体) 64 / 億円 (走行時間短縮便益 : 75.7 / 億円) (走行費用減少便益 : -9.1 / 億円) (交通事故減少便益 : -2.1 / 億円)
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・都市の再生(DID地区内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する。) ・災害への備え(地震防災緊急事業五カ年計画に位置付けがある。)		
関係する地方公共団体等の意見 ・滋賀県地震防災緊急事業五カ年計画における避難路として整備計画に揚げられ、安全な暮らしのための道路としても大変重要な路線となっている。地域住民からも速やかに全線開通するよう強い要望がある。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・中心市街地と東部地域を結ぶ大変重要な路線に変わりではなく、現在建設中の第二名神高速道路大津草津ICへのアクセス道路としての役割をも担う。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・全体区間1.89 kmの内1.15 kmについてはすでに供用しており、残区間についても用地取得を終えた部分から工事に着手している。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・早期に未買収地13筆(1,740㎡)の用意取得を完了し、平成16年度に事業完了とともに供用を図る予定である。		
施設の構造や工法の変更等 ・工事の実施にあたっては、プレキャスト製品の利用、砕石等再生資材の活用、盛土への他工事発生土の使用等によりコスト縮減を図っている。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業に必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
<p style="text-align: center;">南大萱月輪線(第2工区) L=1.89 km</p>		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。